

# 平成19年第4回定例会一般質問

平成19年第4回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日時 12月4日(火)、5日(水)、6日(木)、7日(金) いずれも午前10時から

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話 042-387-9947)

12月4日(火)

氏名	発言の表題
露口哲治	1 災害(地震、火災)時の避難・防災体制について問う
	(1) 防災計画の修正内容と減災目標について
	(2) 要援護者の避難体制・防災訓練・安否確認について
	(3) 要援護者家庭への家具転倒防止金具等助成制度の創設を望む
	(4) 耐震診断を無料に、補強設計・補強工事等助成金の増額、特に要援護者家庭への対応について
	2 校庭の芝生化について問う
	(1) P T Aや地元住民との維持管理組織の立ち上げを考えているのか
	(2) 校庭のスプリンクラーについて
	3 前原町1・2丁目、中町1・4丁目坂下地域の小型ココバス運行について現状を問う
鈴木洋子	1 市民の健康を守るために、健診事業の更なる充実を望む
	(1) 妊婦健診を国基準に増やして欲しい
	(2) 乳がん検診と子宮がん検診を年1回にできないか
	(3) 前立腺がん検診を始めないか
	(4) 歯科検診のレントゲン導入の検討
	(5) 来年の後期高齢者医療の開始を控えて、市の見解を問う
	2 再開発事業の進む中で
	(1) 駅ビルに民間活力で駅前保育園の誘致を
	(2) 小金井市を訪れる人のためにも駅前に案内模型を設置しないか
(3) 武蔵小金井北口の再開発について検討されているか	
宮崎晴光	1 梶野町1・2丁目にココバスを
	(1) 交通不便地域への対応の必要性
	(2) 小型バスの仕様による可能性
	2 インターネット利用の行政サービス向上を図れ
	(1) 登録した市民への行政サービスメール配信を
	(2) 登録したネットワーク上でのアンケート等の実施を
(3) 電子会議室の早急な検討を	
伊藤隆文	1 燃やすごみ処理の広域支援に感謝して、新処理施設建設を順調に進めるために問う
	(1) 新処理施設建設場所の確保について
	(2) 広域支援に感謝して、極力ご迷惑をかけないために
宮下誠	1 火災の対策について
	(1) 既存住宅への住宅用火災警報器の設置促進について
	(2) 火災情報を希望者の携帯メールに配信しないか
	(3) 広報等で消防団をもっと応援しないか
	(4) 消防水利の更なる充実について
	2 職員の働き方にテレワークを導入し、育児・介護と仕事との両立を進めないか
	(1) 政府・総務省によるテレワーク推進の取り組み
	(2) 総務省等による体験プロジェクトに参加しないか
(3) まず部署を特定し、試験的に導入しないか	
紀由紀子	1 高齢者の食育推進と健康推進について
	(1) 市の高齢者への食育の取り組みはどうなっているか

	(2) 荒川区を参考に「おたっしやランチ」を実施しないか
	(3) 市内の飲食店に協力をお願いし、健康づくりメニューを提供してもらってはどうか
	2 図書館行政の充実を望む
	(1) 市民のニーズに答えられているか
	(2) 電子図書をインターネット配信で貸し出すサービスを新たに検討しないか

12月5日(水)

高木真人	1 第二小学校の校庭芝生化はスポーツターフで
	(1) スポーツターフの特性と必要性について
	(2) 平成17年度東京都内で芝生化した学校の評価について
	(3) 成功事例と失敗事例から学ぶこと
	(4) 芝生施工とメンテナンスの関係について
	(5) 維持管理はボランティアにどの程度の負担になるのか
	(6) 東京都費負担で備品の充実を
	(7) 今年度実績と次年度他市の動向と市内他校の取組みについて
	(8) 来年度以降の需要と供給のバランスから考えられること
	(9) 第二小学校の工事計画と芝生開きについて(時期など)
斎藤康夫	1 可燃ごみの脱焼却を研究すべきである
	(1) 燃やして埋めるシステムはすでに時代遅れである。ダイオキシンやCO <sub>2</sub> の排出レベルを下げるのではなく、発生させない技術を利用すべきである
	(2) 燃やさない新ごみ処理システムの最新技術を研究すべきである
	(3) 現在までの研究結果を問う
	2 国のバイオマスタウン構想について
	(1) バイオマスタウン構想の概要について
	(2) 市でバイオマスタウン構想に応募するなどの検討をしたことはあるのか
	3 可燃ごみの加水分解について
	(1) 有機物を亜臨界水で加水分解するシステムは、排煙の必要が無い一般的な技術として様々な分野で使われている
	(2) 生ごみを加水分解で処理すれば肥料・飼料として活用でき、プラスチック系が混入した場合は燃料となる
	(3) 可燃ごみを亜臨界水で加水分解する技術は、新処理システムとして有効な手段ではないか
	4 可燃ごみの炭素化について
	(1) 可燃ごみの炭化炉は実際に稼働させている自治体があるが、排煙が必要である
	(2) 炭素化は密閉したシステムであるため排煙が不要であり、不純物の事前分別が不要である
	5 広域支援軽減のために新処理システムを実証実験を兼ねて早急に設置すべきである
村山秀貴	1 犯罪被害者支援体制の構築を求める
	(1) 東京都犯罪被害者等支援推進計画(仮称)について
	(2) 市独自の支援体制を作るべき
	2 更に親しまれるココバス利用を目指して
	(1) 観光や散策の重要な交通手段であり他市からの利用者も多い一市の認識は
	(2) 目的地が一部わかりにくいバス停が存在するが、把握しているか
(3) 名所案内やルート地図をバス停付近に設置しないか	
関根優司	1 より良い介護保険制度のために
	(1) 介護予防の充実・改善について
	(2) 軽度者に対する福祉用具助成について
	(3) 同居人がいる場合の生活援助について
	(4) 措置制度の活用について
	(5) 保険料について
	(6) 北西部の包括支援センターについて
2 公園等のボランティアの皆さんが参加しやすいように運用の改善を求めます	
水上洋志	1 市民から求められる図書館の充実のために

	(1) 次期基本構想にむけた図書館に関する検討について
	(2) 今後の図書館のあり方をどう考えるのか
	(3) 当面の図書館の改善について
	2 交通バリアフリー計画について問う
	(1) 交通バリアフリー計画策定の状況と検討内容について
	(2) 障害者基本法などの見地で、権利の保障と利用者の目線での計画策定を
	(3) 計画の策定と実施にあたり、利用者の視点から検証と改善ができる仕組みの検討を
和田茂雄	1 地球温暖化防止のため「緑のカーテン」の普及を
	(1) 緑小学校での「緑のカーテン」の効果について、昨年と今年での取り組みで、緑のカーテンを設置した教室とそうでない教室で、気温の差はどれだけあったか
	(2) 緑のカーテンを「街ぐるみで広げよう」プロジェクトを立ち上げてはどうか。各公共施設、商店会、町会などにノウハウを提供することや市制50周年にあわせてコンテストを開催することなどで、地球温暖化防止のためのCO <sub>2</sub> 削減の輪を拡大するチャンスとなる
	2 市民にわかりやすい条例に整理すべきだ
	(1) 後期高齢者医療制度発足に伴う新たな条例制定を機に、市税賦課徴収条例を見直し、市民にわかりやすい条例に整理すべきだ。現在のままだと市税賦課徴収条例の改正で対応することになり、医療保険の市民負担など改正に次ぐ改正でわかりにくく、一層複雑になることが予想される。武蔵野市や三鷹市のように国民健康保険税だけでも分離させるなど別立てにして整理すべきだ
	3 あらゆる場所から、いじめ一掃の取り組みを
	(1) 文科省の小中高いじめ調査で、06年度に全国で前年比6倍の12万件となったという。小金井市ではどうだったか
	(2) 現場の声など実態は把握できているか
	(3) 小金井にも「いじめレスキュー隊」は必要か
	(4) いじめの兆しを見逃さない対策が必要だ。「チェーンメール」などネットいじめが巧妙、多岐にわたっているという。いじめサインの総点検で早期発見、未然防止が大事だが、ネット社会を作り出した大人の問題でもある。学校だけでなく、職場や地域などあらゆる場所から、いじめを一掃する対策をとる必要があると思う。有効な対策はあるか

12月6日(木)

野見山修吉	1 帰国された中国残留婦人が安心して暮らせる小金井市を
	(1) 第2次世界大戦後、長期にわたって中国に残留され帰国された方々への支援法が改正された。福祉一般とは異なる独自の事情があるが、この問題への認識は
	(2) 支援対象者の把握と支援策の周知を
	(3) 小金井市が親身になって相談・支援できる体制を
	2 総合的な自転車交通政策の確立のために
	(1) 駐輪場の確保のための全体像、レンタサイクルのあり方、道路における自転車と自動車と歩行者の整理について、構想を立てるための調査を
	(2) 自転車交通に関する法律の変化など広報周知の強化を
	(3) 自転車の安全利用のために利用者、行政、事業者などの役割分担を示す条例または憲章を
板倉真也	1 精神障がい者の福祉施策の拡充を
	(1) 共同作業所への家賃補助、利用料金の助成を
	(2) 在宅への訪問体制の強化を
	(3) グループホームへの配食サービスの実施を
	(4) 就労センターの職員体制の充実を
	(5) ショートステイ、授産施設の確立を
	(6) 新体系移行によって行き場をなくす人への対応策を問う
	(7) 都立府中病院の独立行政法人化の動きに対する見解を問う
	2 後期高齢者医療制度に対する対応策を問う
	(1) 保険料の独自減免の確立を
	(2) 健診事業、葬祭事業への対応を問う
	(3) 資格証の発行はやめよ

	(4) 市民への周知活動を問う
五十嵐京子	1 放課後の子どもたちの安全確保のために
	(1) 「放課後子どもプラン」は平日の放課後の子どもたちの安全な居場所づくりという目的があるが、平日の活動状況はどうか
	(2) いくつかの例で見ても「放課後子どもプラン」は学校の中で居場所を作ることが大きなポイントと思われるが、学校の中での部屋の確保ができているか
	(3) ボランティアなど人的な体制作りの努力を
	(4) 昔の遊びなど地域の人材を生かすプログラムを
	(5) 来年度に向け、受け入れ体制づくり、保護者への周知を急ぐべき
	(6) 放課後の子どもたちが過ごす児童館や学童保育所との連携を図るためには、生涯学習課と児童青少年課の連携が必要だが、児童青少年課の関わり方は
遠藤百合子	1 「マイ箸」のすすめ
	(1) ノーレジ袋デーとして位置づけている小金井市でのマイバック持参運動の更なる推進を図るには
	(2) 今、静かな広がりを見せている「マイ箸」運動の展開を強く進めよう
	(3) 電球形蛍光灯などのエコ製品を選んで買うためのキャンペーンと共に、事業者へ消費者向けの広告に率先してエコ製品を載せるよう協力要請しないか
	2 アダプトプログラムの導入に向けて
	(1) 現状はどこまで進んでいますか
	(2) 先進市を参考にしつつ、成功させるための今後の見通しはいかに
3 道路の児童・生徒の下校時間帯標示が現状と合っていない時があります。週休2日制になり、土曜日が休日になったためウィークデーの時間割が変更になっています。道路標示を子どもたちの下校時に合わせないか	
渡辺大三	1 (仮称) 貫井北町地域センターの建設に向けて
	(1) 平成22年度に基本設計が予定されているが、地域住民の声を反映した施設にするために、平成20年度、21年度にはどのような作業を行っていくつもりか
	(2) 平成20年度前半に、貫井北町、貫井南町(一部)、本町(一部)、桜町(一部)の全戸を対象に、外観・レイアウト・機能・運営等に関するアンケートを実施しないか(HPでは全市民対象に意見を求めることも可能)
	(3) 平成20年度後半～平成21年度に、市民参画による「(仮称)貫井北町地域センター検討委員会」を設置して答申をいただき、基本設計等に反映させないか
	2 他市への持ち込み可燃ごみを大幅に減らす方策について
	(1) 全量を他市に持ち込んでいる可燃ごみを大幅に減らす方策を講じるべきであるとの認識はあるのか。認識がある場合、それを実現する方策は何か考えているか
	(2) 市民から「加水分解処理」によって堆肥化・燃料化してはどうかとの指摘があり、実際に複数箇所を視察してきた。価格は安価で施設面積も狭小で済むことが確認できたが、大幅な減量・支援期間の短縮に向けて検討を進めるべきではないか
	3 武蔵小金井駅南口再開発事業について
	(1) 1-3街区で、設計図と事業計画・権利変換計画とが一致していない件
	(2) 駅前交通広場の南側入口にトイレを設置することに都市再生機構が懸念を表明している件
(3) フェスティバルコートにテント固定用のフックを設置することが都市再生機構より拒否された件	
(4) 大規模店舗出店に備えての近隣商店街への支援策について	

12月7日(金)

漢人明子	1 地球温暖化対策の実効性を高めよう
	(1) 環境報告書の活用を
	(2) 8施設の省エネ診断結果を集約・分析しE S C O事業の導入を
	(3) 電気のグリーン化を進めよう
	(4) 国内外の森林保護を

	(5) グリーン購入の市民・事業者への宣伝・啓発の現状と方針
	(6) 地球温暖化防止・地域推進計画の早期策定を
	(7) 環境マネジメントシステムの導入について
	2 男女平等な市役所の実現に向けて
	(1) 女性職員の募集、登用及び職域の拡大についての取組を問う
小山美香	1 「石けんの使用」を更に進めるための施策を
	(1) 公共施設での現状について
	(2) 公共施設に関わる人（職員・市民・事業者）への周知を徹底せよ
	(3) グリーン購入の項目に「石けん」を
	(4) 石けん使用指針の策定を
	2 人とのコミュニケーション能力を学ぶために、金融教育に取り組まないか
	(1) 小中学校の総合学習で取り組まないか
	(2) 生涯学習の中でも取り組まないか
森戸洋子	1 救急医療体制の充実について問う
	(1) 産科、小児科の救急医療について、市としても対応を考えないか
	(2) 子どもの初期救急の対応は、身近な市内で対応できる体制をつくらないか
	(3) 高齢者の救急とその後の体制について
	2 東南地域の諸課題について改善を求める
	(1) 栗山公園の整備と健康運動センターの喫茶室について
	(2) 農工大通り（東小学校～西武線踏切間）の大雨時のいっ水について改善を
	(3) 小中学校の雨もりの対策を
	3 再開発第2地区の市役所建設計画はムダづかいであり、撤回を
	(1) これまで市役所建設経費にいくら税金を使ってきたのか、そして、これからどれだけ使うのか
	(2) リース市役所庁舎の賃借が10年から20年になろうとしているが、今後の見通しと方向について
	(3) リース庁舎の賃借ではなく、ジャノメ跡地への市役所庁舎の建設にむけて、計画の見直しを
中根三枝	1 たて割行政の枠を越えて市施設を有効に共用活用しないか
	(1) 学校の級教室以外の部屋の開放を望む
	(2) 公民館、児童館、老人いこいの部屋併設館の設備を使い合うこと
	2 市民が待ち望んでいる市民交流センターにはどの程度エコ関連物が設置されるか
	(1) 太陽光発電システム
	(2) 風力発電
	(3) その他のエコ関連物
青木ひかる	1 リース庁舎契約再更新について市長の責任を問う
	(1) 2001年12月定例会一般質問で、駅前庁舎方針ではリース庁舎から脱却できないことを指摘した。当時市長は5年間で自前庁舎は建つとくり返し答弁していたが、その約束は果たされなかった。市長は責任を明らかにすべきである